

平成28年11月3日(木)4日(金)5日(土)

第70回 青嵐祭

テーマ: 風華~永久に繋ぐ儼漆~

70周年を迎え、
例年以上に盛大に!!

北九大生の元気と笑顔に心を動かされた3日間!! 北方キャンパスの「青嵐祭」は、11月3日(木・祝)から5日(土)までの3日間にわたり開催されました。期間中には、学生主体の模擬店やステージイベント、文化系サークルの活動発表や体験型イベントを中心とする教室企画、情熱と感動のアカペラ杯やよさこい公演などが行われました。



平成28年11月12日(土)13日(日)

第14回 響嵐祭

テーマ: ひびきの四重奏
騒いでいーよん♪

ひびきの開設15周年
見どころ満載、感動の連続!

ひびきのキャンパスの「響嵐祭」は、11月12日(土)から13日(日)までの2日間にわたり開催されました。地域に密着した企画を展開。おもしろ科学実験やセグウェイ試乗会など、理系ならではの催しも。学生、教職員、地域住民が一体となった祭りの魅力が感じられました。



国際環境工学部
ひびきのオープンキャンパス in 響嵐祭

平成28年11月13日(日) 10:00~15:00

ひびきのキャンパスでは、11月13日(日) 響嵐祭にあわせて、オープンキャンパスを開催しました。ラボツアーや学科イベントなど、理工学学部ならではのイベントを実施しました。1日の開催でしたが、多くの高校生や保護者の方々にご来場いただきました。

12月
以降の

他大学との合同進学ガイダンス・入試直前相談会のご案内

	日時	会場	主催
進学ガイダンス	福岡市 12月13日(火) 15:00~18:30	エルガーラホール	栄美通信
	鹿児島市 12月14日(水) 16:00~18:30	ジェイドガーデンパレス	大学新聞社
	熊本市 12月15日(木) 15:30~18:30	くまもと県民交流館パレア	栄美通信
入試直前相談会*	福岡市 平成29年1月21日(土) 10:00~16:00	博多バスターミナル 9階大ホール	北九州市立大学

*大学入試センター試験の再試験が行われる場合は、相談会の開催を中止もしくは延期する場合があります。

どちらの会場も、予約不要、入退場自由です。今後のガイダンスやイベント等については、決まり次第本学ホームページで随時お知らせ致します。

青嵐

The University of Kitakyushu Information SEIRAN vol.43 発行日/2016年12月1日 発行元/北九州市立大学広報入試課

青嵐

題字: 阿南 惟正 前理事長筆

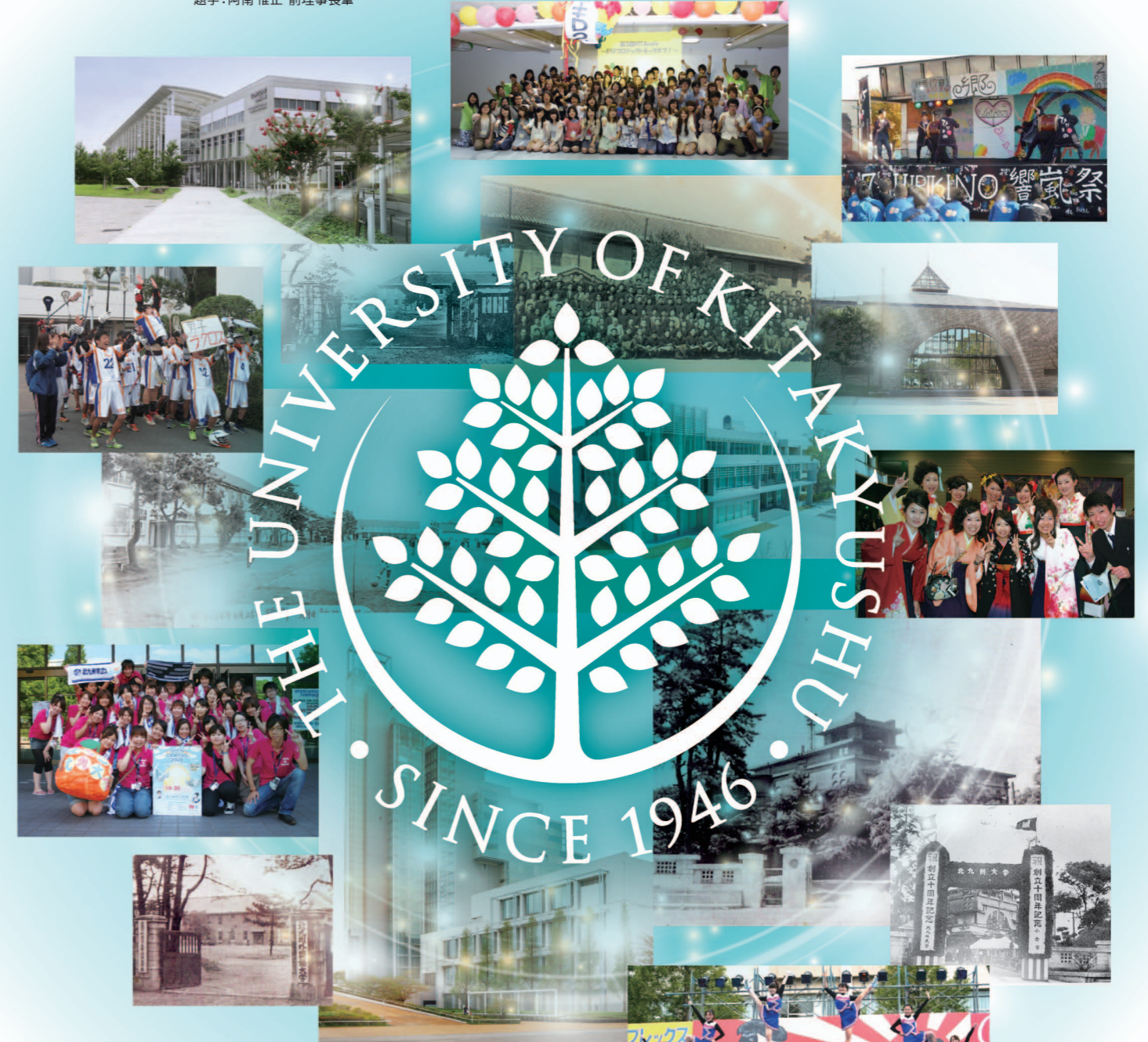
学報

seiran

Vol.43

創立70周年記念号

70th
Anniversary



contents

- 02 特集
 01 創立70周年を迎えて
 70周年記念式典・祝賀会
 環境技術研究所新施設 2017年春オープン
 アジア未来会議・ひびきの15周年記念講演会
 公立大学協会学長会議・野球部優勝

- 04 | 北九大発ブランド特集!
 06 | 魅力発信プロジェクト参加学生による留学・海外インターンシップ体験談
 08 | 青嵐祭・響嵐祭・ひびきのオープンキャンパス 他

公立大学法人
北九州市立大学

学報 | 発行日/2016年12月1日
発行元/北九州市立大学広報入試課

「地域」と歩む/「環境」を育む/「世界(地球)」とつながる
北九州市立大学は本年創立70周年を迎えました

北九州市立大学は創立70周年を迎えました。
これを記念して、様々なイベントが開催されました。

70 創立70周年記念式典・祝賀会

- コンセプト 「学生とともに作る周年事業」
- 開催日時 11月4日(金)
[式典]17:00～ [祝賀会]18:15～
- 開催場所 リーガロイヤルホテル小倉
(北九州市小倉北区浅野二丁目14番2号)

11月4日(金)、北九州市立大学創立70周年記念式典・祝賀会を開催しました。式典では、石原進理事長が「現在の大学は、グローバルに活躍できる人材の育成、革新的な研究成果が求められている。70周年を契機として着実に対応していく。」とあいさつしました。またご来賓を代表して北橋健治北九州市長から「時代をリードする人材の育成を通じて、引き続き本市の発展に貢献してほしい。」とご祝辞をいただきました。近藤倫明学長は「創立70周年 北九大100年の未来に向けて」をテーマに講演し、「環境首都である北九州市の一員として持続可能な社会の実現に貢献する。」「地域に根差しつつ世界に活躍のフィールドを広げる。」と述べ、今後の展望を語りました。式典に引き続いて開催した祝賀会には約400人が参加しました。「学生とともに作る周年事業」をコンセプトとして、司会・進行、受付からアトラクションにいたるまで総勢100人の学生が祝賀会の運営に携わり、参加者の皆様からお褒めの言葉をいただきました。北九大らしい祝賀の場となりました。



式辞を述べる石原進理事長



北橋健治北九州市長による祝辞



大学ブランド酒「ひびきの杜」による乾杯



硬式野球部・九州六大学優勝報告



吹奏楽団による記念演奏



感謝の言葉を述べる近藤倫明学長

環境技術研究所新施設 2017年春オープン

環境技術研究所は2013年に10年間を見据えた将来構想「ビジョン2013」を策定し、その中でとりわけ研究環境の充実を目指してきました。北九州市立大学の創立70周年を迎える本年、その記念事業として、ひびきのキャンパス南側に新たな研究施設の建設をすることになりました。現在、工事が進んでおり、2017年春に完成する予定です。この施設には、特に大きな成果が見え始めたバイオマテリアルの研究スペースの他、生物・化学系の研究に必要な実験設備を備えたオープンラボスペースが整備される予定です。また、この施設は、プレキャストコンクリートの採用による建設現場の木製型枠材削減(森林資源保護)や人感センサーと連動したLED照明の採用、熱が逃げやすい窓面積の低減、庇による日射遮蔽(省エネ)、太陽光発電の設置(自然エネルギー利用)など、環境技術研究所として環境に配慮することとしています。研究支援体制の強化により、今後とも研究施設の充実と一層の重点研究を推進するとともに、若手研究者の育成環境を整えていきます。



環境技術研究所について

構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
規模	延べ床面積904.98㎡
供用開始	2017年4月

第3回アジア未来会議(日本・北九州)

テーマ 環境と共生 Environment and Coexistence

北九州市立大学では、創立70周年記念事業の一環として公益財団法人渥美国際交流財団(主催者)と共同で9月29日(木)から10月3日(月)に「第3回アジア未来会議」を北九州市で開催しました。日本での開催は初めてとなるこの会議は、日本で学んだ人や日本に関心のある人が集い、アジアの未来について語る場で、アジアを中心に20か国・地域から約400人の研究者や学生が参加し、「環境と共生」をテーマに活発な議論が展開されました。

30日は、北九州国際会議場で4つのフォーラムが開催された他、トヨタ自動車MIRA1チーフエンジニア田中義和氏による基調講演、環境問題に取り組む地元北九州のパネリストが「持続可能な発展と市民社会」について議論するシンポジウム等が行われました。

1日は、本学北方キャンパスで、225本の論文が発表される分科会やポスター発表が行われました。規模の大きな国際会議でしたが、本学の多くの学生ボランティアが案内誘導など積極的に運営に携わったことで成功裏に無事終了することが出来ました。



ひびきのキャンパス開設15周年記念講演会

10月8日(土)、本学ひびきのキャンパス開設15周年を記念して、JR九州の電車デザインなどを数多く手がけている株式会社ドーンデザイン研究所 水戸岡鋭治氏を講師に迎え、基調講演を行っていただきました。水戸岡鋭治氏の作品といえば、九州内を巡る豪華寝台電車「なつ星in九州」をはじめ、九州新幹線800系電車「つばめ」や883系電車「ソニック」といった特徴的な車両デザインや、JR博多駅・大分駅などの駅舎デザインに至るまで多岐にわたっており、特に九州に住

んでいる人間にとっては、目にする機会の多いとても身近な存在のものが数多くあります。講演会では、車両内のみならず車体にまでふんだんに木を使う理由や、地元の特産・伝統技術を多く取り入れることを大事にしているということなど、ご自身の手がけた作品例を紹介しながら、「大人が本気で想いを込めて一生懸命作ったモノには、その想いが伝わるので、子どもは決して傷つけない」とお話をなさっていたのが、非常に印象的でした。



公立大学協会学長会議・学生大会



学長会議

10月10日(月・祝)～10月11日(火)に、大学創立70周年記念事業の一環として、(一社)公立大学協会が主催する全国公立大学学長会議が、北九州市立大学及びステーションホテル小倉で開催されました。全国88の公立大学から約100名の学長等が参加され、学生とのランチ交流会やパネルディスカッション等が行われました。ランチ交流会では、並行して開催された全国公立大学学生大会～LINK topos～に参加している学生約120名と、昼食を共にしながら意見交換を行いました。10日の会議終了後に引き続き情報交換会も行われ、本学の太鼓サークルに所属している学生が、小倉祇園太鼓を披露しました。また、11日の会議終了後には、本学主催で市内視察を実施しました。門司港レトロ地区や安川電機をご案内し、参加者に北九州市の歴史や魅力に触れていただきました。



全国公立大学学生大会

全国の公立大学88大学から、北は札幌、南は沖縄と約120名の学生・教職員が北九州に一室に会したイベントが全国公立大学学生大会～LINK topos～です。LINK toposには、2011年の東日本震災を契機に「公立大学の学生として何ができるか。自大学のみではなく全国の仲間たちとつながりたい」という思いが背景にあります。今年は10月8日(土)～10月10日(月・祝)の3日間、各大学における学生の地域活動を紹介するポスターセッション、北九州という「地域」を知るパネルディスカッション、参加者同士で課題設定から解決案までを提案発表するワークショップなど内容盛りだくさんで行われました。今回LINK toposの参加者それぞれが「学び」を得、「大学に帰って、どんな取り組みをしようか。他大学に負けていけないぞ。」という、発火点になっているはず。私事ですが、来年度は学生代表に任命されました。LINK toposのさらなる発展を目指して、全国の同志と連携しながら、様々な仕掛けができればと考えています。

<文学部比較文化学科 3年 前田 謙>

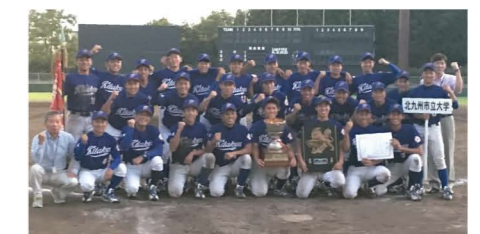
北九州市立大学硬式野球部

平成28年度 九州六大学野球秋季リーグ戦優勝

さらに、ユニバーシアード大会記念 第23回九州大学野球選手権大会準優勝

平成28年度九州六大学野球秋季リーグ戦は、10月6日(木)に行われたリーグ戦最終戦において、北九州市立大学が8対1で九州大学を破り、通算成績7勝3敗で優勝しました。秋季リーグとしては昭和33年以来58年ぶりに、春季リーグを入れると平成17年以来11年ぶりに6回目のリーグ優勝をとり、明治神宮野球大会への出場をかけたユニバーシアード大会記念

第23回九州大学野球選手権大会に駒を進めました。平成28年10月15日(土)～23日(日)に行われた同大会では、決勝まで勝ち進んだものの、日本文理大学に0対3で惜しくも敗退。明治神宮野球大会への出場は果たせなかったものの、九州六大学野球秋季リーグ戦の優勝は創立70周年に花を添えることが出来ました。



北九大発ブランド特集!

本学の教員や学生による研究成果や教育成果の結果、これまでに多くの商品が開発されました。今回、近年商品化された『北九大発ブランド』の数々についてご紹介します。

北九州型消火剤システムの開発、海外販売決定!

無添加のパイオニア「シャボン玉石けん株式会社」が販売し、本学国際環境工学部の上江洲教授と河野教授の研究チームが開発に関わった石けん系消火剤が、国内だけでなく海外でも販売が決定しました。石けん系消火剤は、泡で対象物の表面を覆って空気を遮断することと、水の浸透性を高めることで、効率よく火を消すことができます。通常の水での消火に比べて使用する水が少なく済み、環境にも配慮したものになっています。この消火剤は北九州市消防局をはじめ、国内で採用する自治体が着実に増えています。現在、国際協力機構（JICA）の支援を受けて、インドネシア・パラカラヤなどで多発する泥炭火災に、この石けん系消火剤が活用できないか研究を行っています。地球環境保護の観点からもぜひ多くの国で使ってほしい石けん系消火剤です。



竹を「食べる」ことで放置竹林問題に貢献。竹粉を使った「合馬のファイバーラスク」

たけのこで有名な北九州市合馬地区。良質な粘土質の土壌には広大な竹林が広がっていますが、近年、高齢化による手入れ不足から放置竹林が問題となっています。その対策として、竹に含まれる豊富な食物繊維に着目した国際環境工学部森田教授は、竹の食用化について研究を重ね、平成27年2月、クラウン製パンと共同開発した「合馬のファイバーラスク」を販売しました。商品開発では、研究室の学生が官能検査という方法で味を評価し、企業が改良を加える作業を行いました。食物繊維たっぷりなので、整腸作用や便秘の解消に期待できそうです!



リケジョの作ったお酒として話題! 日本酒「ひびきのの杜」、創立70周年記念として今年も販売!

本学国際環境工学部の森田教授の研究成果である日本の麹菌と中国の麹菌をブレンドした麹（特許第5900871号）を活用した日本酒「ひびきのの杜」が、平成26年1月のデビューから毎年改良を重ね、平成28年5月、70周年を祝う大学ブランド酒として完成しました。昨年より強力なパートナーとなった溝上酒造株式会社は、「大学生まれのお酒を造り、若い人たちに日本酒の素晴らしさをもっと発信したい」との思いで、森田研究室と共に美味しいお酒づくりに挑戦しました。特許出願、技術移転及び酒造会社とのコーディネートなど、同じ学研都市にある（公財）北九州産業学術推進機構の支援のもと実現したものです。昨年は1,000本が即完売となりました。「探しても手に入らなかった」という声に応えるため、また創立70周年を「ひびきのの杜」で盛大に祝うため、今年は昨年の倍以上となる2,500本を販売しました。



環境指標となるニホンミツバチを学内で飼育し、収穫されたハチミツを「北九州和蜂蜜」として発売、即日完売!

「放課後みつばち倶楽部（代表：竹川大介文学部人間関係学科教授）」が中心となり、北方キャンパス内において地域の自然環境の生物指標としてニホンミツバチを飼育しています。養蜂用に品種改良されたセイヨウミツバチの蜂蜜に対し、在来種のニホンミツバチが集める和蜜は幻の蜂蜜ともよばれ希少価値が高いものです。平成27年12月に、北九大と北九州周辺で収穫されたニホンミツバチの蜂蜜を「北九州和蜂蜜」のブランド名で販売したところ、大人気で即日完売となりました。今年の夏は10日間かけて九州の山間部をまわり、在来技術によるニホンミツバチ養蜂の調査をおこないました。ニホンミツバチ養蜂のネットワークが広がっています。



販売について

- ・50グラム850円（税込）
- ・九州山地の各地から集めたニホンミツバチの蜂蜜を、12月ごろより且過市場の大学堂で販売開始

産学官域連携による地域創生学群焼酎プロジェクト! 100%北九州市産の芋を使用した芋焼酎、「平尾台」「ほたるの里」が完成!

3月9日（水）、北九州市役所に北橋健治・北九州市長へ芋焼酎「平尾台」の完成報告および贈呈が行われました。平成26年11月から始まった「産学官域連携による焼酎プロジェクト」として、北九州市農林課「株式会社JA北九絆ファーム」と、本学地域創生学群が八幡東区猪倉地区で行っている「猪倉農業関連プロジェクト」が連携して取り組んだ、産・官・学・地域の絆の賜物が、今回の芋焼酎「平尾台」「ほたるの里」（地域限定販売）です。市内の耕作放棄地を利用して、原料となるサツマイモ「コガネセンガン」の作付け・栽培から収穫に至るまで、猪倉地域の方々や学生と一緒に作り、地元酒造会社の「無法松酒造有限公司」での仕込み作業を経て作り上げたこの芋焼酎は、ラベルデザインも同プロジェクトの学生が学内コンペを経て決定した、想いの詰まった製品となりました。贈呈式後の歓談では、地域創生学群学生らが参加し、北橋市長から味の特長や栽培での苦労など尋ねられ、「爽やかな口当たりで、北九州はもちろん、全国の方にも親しんでいただきたい」とPRしていました。これら焼酎は、市内百貨店の井筒屋や無法松酒造本店のほか、市内商業施設でも取扱いましたが、現在在庫切れの状態です。現在学生達は、来年の焼酎作りに向けて、芋作りにも奮闘しております。



販売について

- ・製造本数 / 「平尾台」800本、「ほたるの里」300本（いずれも720ml詰）
- ・希望小売価格 / 1,188円（税込）
- ・販売 / 井筒屋小倉店・黒崎店、無法松酒造有限公司、サンリブほかに市内酒店
- ※今年度は好評につき完売、平成29年春頃完成予定



販売について

- ・製造本数 / 2,500本（720ml詰）
- ・希望小売価格 / 1,684円（税込）
- ・販売 / 井筒屋小倉店、溝上酒造株式会社、北九州市立大学生協 ほかに市内酒店

「ひびきのの杜」の特長

混合培養麹
一般的な日本酒造りに使用される麹菌（アスペルギルス菌）と中国の紹興酒造りに使用される麹菌（リゾープス菌）を共培養した。共培養することで「高い酵素活性」や「豊富な酸」が得られる。今回の酒でも味わい深く、すっきりとした味わいの酒となった。

オール北九州のお酒（地元産品と地元の研究成果を使い、地元の酒蔵で作った日本酒）
・酒造用米…北九州市内産の「夢一献」
・仕込み水…皿倉山麓の清らかな湧水
・麹…北九州市立大学の研究成果



北九大魅力発信プロジェクト参加学生による留学・海外インターンシップ体験談

北九大魅力発信プロジェクトとは

在学生による広報プロジェクトで、在学生が高校生やその保護者、高校教員の方々が本学を訪問された時に行うキャンパスツアーや学生生活等のプレゼンテーション、大学オリジナルグッズの作成、大学ブランド商品のPRなどを行っています。

その学生3名が、本学の制度を利用して留学・海外インターンシップに参加しました!

留学を経験したことによって語学力だけではなく積極性も向上しました。



牛島 沙椰さん
外国語学部 英米学科2年

私は今年の3月から9月まで、アメリカ・ワシントン州のタコマ・コミュニティカレッジへ半年間休学せずにホームステイしながら学ぶプログラムに参加しました。目的は語学力向上でしたが、実は英語力には自信がなく、自分の意見を言うことすら恥ずかしいと思うシャイな性格でした。でも留学説明会で「初めての海外留学にはタコマが適している」という話を聞き、このプログラムを選びました。現地では留学生だけで行われる授業も多く、先生方も私たちが聞き取れるように話してくださるので、当初の不安を忘れて楽しく学ぶことができました。ライティングやリーディング、発音や日常会話など、英語力を向上させるためのさまざまな授業がありました。ただ、現地の学生も参加する授業では、先生の話すスピードが速くなり、最初の頃はついていくのに苦労しました。でもターニングポイントになったのは、ある授業中、一対一で現地の学生と話していて「その考えは思いつかなかった」と、なかなか出せずにいた意見を勇気を出して伝えたときに褒めてもらった時かも知れません。そういった一つひとつの相手のあたたかな反応が、私の積極性を引き出してくれました。今回の留学を通じて、語学力の向上だけでなく、勉強に対する姿勢も学ぶことができました。アメリカでは授業中も自分から積極的に発言する人が多く、熱意を持って学ぶ学生達の雰囲気を感じ、勉強に対する考え方が変わったのです。私はもともと翻訳に興味があり、海外の本を自分なりに訳したりしていたのですが、それまで以上に熱意を持って取り組めるようになりました。英語に自信がなく、自分から積極的に話しかけることさえできなかった私が、留学を経験したことによって失敗を恐れず何でも喋ってみようという気持ちになることができました。嬉しかったのは外国人の友達がたくさんでき、彼らとの会話を心から楽しめるようになったことです。半年という期間は長く、あるいは短く感じるかもしれませんが、現地ではサポートしてくださるスタッフがたくさんいますし、留学生にとっても慣れているので安心です。キャンパス内だけでなく、学校の外でもフレンドリーに見知らぬ人と会話を交わせるのはコミュニティカレッジならではのこともかもしれません。今後留学を希望される後輩の皆さんには、派遣留学制度というこの貴重な機会を活かして、語学の勉強はもちろん、他国からの留学生たちとの楽しい異文化交流を体験してほしいと思います。



社会で活躍するためのヒントを沢山得ることができたと思います。

今年の夏にアメリカのロサンゼルスにあるアミューズグループUSAで3週間のインターンシップを体験させていただきました。私は中学生の時に英語が好きになり、それ以来ずっと自分なりに英語をしっかりと勉強してきたつもりです。「そんな自分の英語力が海外でどれだけ通用するのか試してみたい。できれば留学とはまた別のかたちで」。そう考えながら、色々なプログラムを探していた時、海外インターンシップというシステムが自分の希望に合致すると思い、今回参加させていただきました。

アミューズグループUSAは、総合エンターテインメント企業として知られるアミューズ株式会社の海外拠点会社で、以前からエンターテインメント産業やメディア産業に興味を持つ私にとってベストな職場でした。滞在期間中は、社員の方の日々の業務のサポートにも携わることができ、その中で「今、日本で流行しているものかどうなのかというのがある。なぜそれが面白いのか」ということを考える機会が与えられ、とても勉強になりました。今まで無意識に見ていたドラマや映画、音楽などについて、「なぜそれが面白いのか」ということを意識して考えることは普段の生活の中でなかなかないことなので大変でしたが、業界で活躍するために大切な視点、面白いと思うものを考えるためのヒントを沢山得ることができたと思います。また、アミューズ所属アーティストのPerfumeがアメリカツアーを終えた直後のタイミングであったため、そのコンサートグッズ在庫確認作業や倉庫の整理などの業務も体験することができました。職場やホームステイ先、集合研修で多くの人たちとの出会いがあり人脈を広げることができたのも大きな収穫です。今後は海外インターンシップで学んだことを自分の中に少しずつ落とし込みながら、目前に迫った就職活動に向けて発展させていきたいと考えています。夏休みを利用して参加できる短期間のプログラムですので、後輩の皆さんにも是非思い切ってチャレンジしてほしいと思います。



木下 雄裕さん
外国語学部 英米学科3年



海外で働くためには語学力だけではなく、人間性を高めることが大切であると痛感しました。

今夏、タイのアジアン・ハーブ・アソシエーション社において、3週間の海外インターンシップに参加させていただきました。このインターンシップに参加した理由は、昨年、海外インターンシップ報告会で先輩方の話を聞き、「将来は海外で働きたい」という気持ちが芽生えたからです。これまでアルバイトという形での就労経験はあるものの、海外で働くということがどういふことなのか全く分からなかったため、留学ではなくあえてインターンシップに参加しようと思いました。

アジアン・ハーブ・アソシエーション社はスパ・マッサージ店舗、ハーバルプロダクトの開発・製造などの事業を展開する会社です。私は同社のマッサージ店舗で受付業務を担当しました。受付スタッフや日本人客以外のお客様との会話はすべて英語で行いました。セラピストの方はタイ語しか話せないのですが、ボディランゲージでコミュニケーションをとりました。

実際に現地でも働いている方々と同じ職場で過ごし業務を体験することができる海外インターンシップは、私にとって大変貴重な機会でした。お客様からのクレームへの対応や、クレジットカードの取り扱いなどで苦労した点もありましたが、たくさんの新しい出会いがあり、知らなかったことをたくさん教えていただきました。接客という仕事をすることで、海外で働くことに対する憧れをこれまで以上に抱くようになりました。

今回の海外インターンシップを通じて、英語でコミュニケーションができることはもちろん大切なことではありますが、それ以上に人として笑顔であいさつできるなど、人間性を高めることが大切なのではないかと感じました。今後は語学力だけではなく自分を磨き、人として成長できるよう努力を続けたいと思います。海外インターンシップは3週間という短い期間ですので、「毎日を充実させて過ごそう」という気持ちを強く持つことができます。在学中に海外で働くという、とても貴重な経験を積むことができるので、後輩の皆さんも是非挑戦してほしいと思います。



原口 友見さん
外国語学部 英米学科2年



各種留学プログラム

交換留学

在学したまま海外の協定校に留学する制度です。派遣期間は約1年。全学部・学群の学生が対象です。派遣学生は広く公募し、選考の上決定します。

交換留学の3つのメリット

- 『安心』信頼のおける協定校が留学先なので安心。
- 『経済的』授業料は北九州市立大学の授業料のみで、受入先での授業料は発生しません。また、派遣学生のうち成績優秀者には奨学金が支給される制度もあります。
- 『単位互換』単位互換が可能なので、留年せずに卒業することもできます。

派遣留学

英語圏

タコマ・コミュニティカレッジ(米国・ワシントン州)
全学部・学群の学生が対象です。1学期は30名、2学期は25名の年間計55名を派遣しています。期間はそれぞれ半年で、語学力を磨き、異文化交流を行う、本学のための特別プログラムとなっています。

フォートルイス大学(米国・コロラド州)
全学部・学群の学生が対象です。年間2名を派遣します。期間は1年で、学士課程のコースを受講します。

中国語圏

北京語言大学(中国・北京市)
全学部・学群の学生が対象です。年間5名を派遣します。期間は1年で、主に語学力向上を目的とした授業を受けます。

同济大学(中国・上海市)
全学部・学群の学生が対象で、期間は半年もしくは1年です。半年2名、1年2名の合計4名を派遣します。語学力向上を目的とした授業を受けます。

海外語学研修

夏期・春期の休業期間中に海外の協定校で開かれる3~4週間の語学研修プログラムです。全学部・学群の学生が対象で、基本的には人数制限がなく、希望者は全員何回でも参加できます。内容は研修先ごとに異なります。研修先での成績は、本学の単位として認定申請することもできます。(学部・学科・学群・学類による)

ひと足先に、グローバルな仕事を体験!

海外インターンシップ

本学では、グローバル人材育成の一環として、平成25年度から海外インターンシップを実施しています。これまでに、17ヶ国・地域で延べ160名の学生を海外の企業等に派遣しています。将来、「世界を舞台に働きたい」「ビジネス現場で英語を試してみたい」「海外とつながりのある仕事に就きたい」という学生にとって、海外の現場を体験できるこの上ない機会です。

これまでの主な派遣先

アメリカ / 中国 / シンガポール / タイ / 台湾 / イギリス / スペイン / オーストラリア

H.I.S. / ジェイアイエヌ (JINS) / JTB / アミューズ / 日本旅行 / 一風堂

留学 Q & A

Q. 交換留学では留学先大学で授業料を払わなくていいと聞いたのですが?

A. 払わなくてよいです。本学と留学先大学の間で、「授業料相互免除」という約束を交わしています。そのため留学している間は、本学に授業料を払うこととなります。特に英語圏の大学は授業料が高い(本学の2~3倍)ので、断然お得です!

Q. 奨学金制度はありますか?

A. あります。交換留学と派遣留学の場合は独立行政法人日本学生支援機構から、奨学金(留学期間中6~8万円/月)を受給できる可能性があります。また、Kitakyushu Global Pioneers履修生への奨学金(留学期間中4万円/月)制度も設けています。大学が留学生の中から成績優秀かつ受給条件を満たす学生を受給者として決定します。その他、交換留学・派遣留学・語学研修いずれに参加する場合も、大学または大学国際交流基金(※)からの奨学金補助金を受給できる可能性があります。 ※大学同窓会・後援会から出資を受けている基金ですので、受給のためには同窓会費・後援会費を完納する必要があります。

Q. 1年間の交換留学や派遣留学をしても、4年で卒業できますか? また、留学先で取得した単位を北九大の単位として認定されるって本当ですか?

A. 4年で卒業できます。また単位認定もされます。ただし、留学する学年、在籍する学部学科によっては4年で卒業するのが難しい場合もあるので、確認する必要があります。単位認定に関しては、留学前に先生と相談の上、留学先で取得する科目を検討し、留学中に頑張っその科目の単位を取得すれば、留学後大学に申請することにより、北九大での単位として認められます。この単位は、卒業要件としての単位に算入されます。留学に関する詳しい情報は国際教育交流センターHP <http://international.kitakyu-u.ac.jp/> をご確認ください。